

令和8年度第1回長崎市恐竜博物館運営協議会 議事要録

1 開会

2 夏季企画展視察

指定管理者学芸員の案内による展示視察

3 議事

(1)委員改選に伴う会長及び職務代理者の指名

(2)夏季企画展に関する意見

- ・実物が豊富にあり、見やすい展示となっている。
- ・伊王島からオウムガイがたくさん産出しており、古生物の業界では長崎市を代表する化石として知られているが、そういった化石も展示があればよかった。
- ・前回の中国の恐竜に関する企画展示では、ワークシートがあつてよかったと思っており、今回の企画展示であつたかわからないが、あればよいと思う。
- ・最初のころに比べると、展覧会の内容もずいぶんよくなったように見られる。

(3)令和7年度事業報告

〈指定管理者・事務局より説明〉

【委員】入館者について、子どもが小学生・中学生・幼児でまとめて記載されているが、中学生だけの人数はわかるものなのか。

【指定管理者】来館いただいたすべての方に年齢等を聞いていないため、正確な数字は不明。アンケート収集に基づく割合としては、多い方から未就学児・小学生・中学生・高校生の順となっている。高校生が少ない件については、逆に伸びしろととらえており、しっかりターゲット別の事業を進めていきたい。

【委員】外国人については、どのような内訳となっているのか。

【指定管理者】基本的には、外国人も少ない状況となっている。軍艦島資料館のような世界遺産に対するインバウンドも多いため、長崎市内としては10%ほどあるが、我々としては1%程度と少ない。今後の課題として、外国人への対応や周知、多言語対応はしているものの、受け入れ態勢をしっかりとおこなっていきたい。

【委員】恐竜博物館を訪れたとき、外国人は少ないが、いらっしゃる方はしっかりとみている印象。統計として数字はとっておいた方がいいと思う。長崎歴史文化博物館では、コロナ前は69か国の国から来ていた。オランダ・アメリカ・中国が多い。

【委員】入館者数は、今年は激減しているように見られるので、その部分の原因が知りたい。資料の「職場体験受け入れ」について、職場体験や小学生の宿泊体験学習の受け入れを記載しているが、大学生の学芸員実習についても実施されていたかと思うので、追記されてはどうか。

【委員】バスの利用について、長崎駅からどのくらい博物館を目指してきているかをバス運転手に

尋ねたところ、かなりいると聞いた。以前は、「恐竜パーク行」という表示がされていたが、現在はなくなっており、どのバスに乗ればたどり着くのかかわからない利用者が多いと聞いている。バス会社との協議になると思うが、連携できれば利用者増加につながるのではないかと考えている。

【指定管理者】ほとんどは、車での来訪が多いが、バスを利用する方もいることは把握している。そのため、バス会社とはバス停の改善など連携を図っているが、今後もより連携を図っていきたい。また、利用者向けにもHPにて案内するなど充実させていきたい。

【委員】令和8年の入館者数がかなり厳しい現状となっている。悪い言い方をすると飽きられてしまったのか、対策を知りたい。また、ミュージアムショップの売り上げについて、売り上げは伸びているものの赤字経営になっている理由も知りたい。

【指定管理者】去年は、ポケモンと連携した企画展による押し上げがあった。常設展示については基本的にリニューアルすることはできず、市側で実施していくものであるため、指定管理者としては、企画展でいかに来館いただくかが重要と考えており、令和7年度は入館者の減少傾向をとどめることができたのとらえている。今年度においては、集客のピークである夏休みの人数を反映できていない。子ども達だけではなく、若いカップルにも来ていただけるような方向性を考えている。現在の状況として、夏季企画展22,000人を目標としているが、直近のお盆の時期は1日あたり1,000人を超えるような来客があっている。また、9月にも5連休があるので、しっかりと周知していきたいと考えている。大きな流れとしては、企画展もしっかりやりつつ、パーク全体の魅力周知・誘致を進めていきたい。

【委員】中学生にも多く訪問してほしいところではあるが、部活動などもありなかなか行かなくなってくる年代であると感じている。長崎市の研究会として理科部会というものもあり、うまくタイアップしながら中学生にも来てもらえればと思う。

【指定管理者】理科部会ともしっかり連携をしていきたい。ミュージアムショップの運営状況について、昨年度は夏季企画展で多くの来館があり、ポケモンのグッズが爆発的に売れた。その余波もあってか、ショップでの売り上げは少なかったのではと考えている。赤字となっている要因として、スタッフの配置や物価高による影響があると考えている。指定管理者として、ショップで利益を出そうとは考えていないが、収支が均衡するような努力はしていきたい。

【委員】理科部会について、理科部会OB会もあり、毎月科学館にて協議や講演会を実施している。昨年度は、恐竜博物館を訪問し案内もいただいたことを感謝している。福岡県久留米市の科学館では、県外からの来館でも60歳以上が無料であったが、長崎市では今年度から有料となってしまう、それも来館者減少の要因となっているのではと感じている。月一で野母崎に来ているが、博物館が60歳以上も有料となってしまったため行かなくなった。

修学旅行のような団体向けにとって、距離的コスパが悪いのが現状である。滞在時間30分に対して往復2時間かかってしまうため、学校の先生方からすると、密度の高い市内中心部を選択してしまう。お金のかかることではあるが、軍艦島に行く船の発着場が博物館側にあれば、絶対来ると思う。海が近いので、水族館も有力。水族館だとお金がかかるのであれば水槽館ではどうか。高浜にあるものの、博物館から歩いて行ける距離に欲しい。お金がかからないもので、アスレチック場を作ることで、それを目的とした誘客はどうか。

バス停について、諫早市ではイチゴやメロンのバス停があることから、恐竜のバス停はどうか。

【事務局】観覧料について、今年度から長崎市では公共料金の見直しを行い、恐竜博物館においては大人料金が変わらなかったものの、子ども料金は200円から250円に上がっている。これは、一般料金の半額にするという市の方針によるものであることから値上げとなった。子ども料金の対象として、高校生が一般料金から子ども料金へ変わったことも変更点である。60歳以上の方は料金を減免する取扱いとしていたが、減免の取り扱いについても見直しを行い、年齢のみによる減免の取り扱いはなくなった。これらは長崎市全体の方針であることから、ご了承いただきたい。なお、毎月のようにご来館いただく場合、博物館では常設展の年間パスポートがあるため活用いただきたい。

【指定管理者】修学旅行への魅力不足について、ご指摘のとおりと思っている。指定管理者として、博物館の魅力を高めていくことが必要と考えている。修学旅行用のガイドブックも作成しており、修学旅行のような教育のテーマにあうような内容で旅行会社や各学校へアプローチしている。悪天候により軍艦島へ上陸ができなかった場合の代替案として軍艦島がよく見える恐竜博物館に来ていただいているため、これらを継続しつつ、新しい魅力についても長崎市と連携していきたい。また、平和教育と博物館をつなげる取り組みが必要と思う。委員の皆さんからの知恵もお借りして一緒に取り組んでいきたい。

軍艦島への発着場について、過去に南総合事務所にて実証実験をおこなっていた。発着場としての場所はあるものの、10人乗りの船が限度であり、1クラス40人程度の船が着岸できないことから、バスでの移動などを含めて旅行会社へ提案したものの、採用されなかった。いずれにしても、恐竜博物館と軍艦島の魅力をいかに高めていくかが、重要と考えている。

【委員】海外の方の来館がほかの長崎市の施設に比べると少ないように見られる。博物館の方針として、海外の方をそれほど重要視していないのか、誘致をしているが効果が得られていないのか、今後の方針も含めて知りたい。

【指定管理者】オープン時は長崎市内からの来館が全体の約50から60%であった。現在は県外からの来館が最も多く、ターゲットが少しずつ変わっていったと思う。市民・県民のリピーターを増やす方法として、企画展や体験メニューの充実が必要と考えている。長崎県外、特に九州圏内の来館が多くなっているのは、ポケモンの企画展や軍艦島のドラマ効果があったものと考えており、九州圏内特に福岡県からの誘客をしっかりとやっていきたい。また、関東からも増えているため、引き続き誘客していきたい。海外からの訪問について、長崎市全体の割合に比べて、博物館への訪問の割合がかなり少ないことは課題ととらえており、次のステップとして取り組んでいきたい。現在は、長崎にくる国際観光船について欧米圏から個人レベルでくることが多くなっているため、誘致を進めている。

(4) 令和8年度運営状況

〈指定管理者・事務局より説明〉

【委員】恐竜研究所にて、長崎大学との連携事業であるジュニアドクター育成塾を実施しているが、中学生の参加が多いようなので、中学生の観覧者を増やすには、中学生向けの魅力のある事業についてより広報をしていく必要があると思う。ほかにも年代別の広報が必要と考える。

- 【委員】「恐竜」は男の子のイメージが強く、昨年のポケモン企画展も男の子寄りであったと感じているため、最近でいえば、「ちいかわ」のような女の子寄りのコラボ企画も実施してはどうか。
- 【委員】ミュージアムショップの見込みについて、仕入れ価格の極端な上昇による影響はあるのか。博物館では標本整理に使うような消耗品が軒並み値上がりをしており、今年度はイラン情勢によって影響があるのではと考えている。恐竜フィギュアでは、ドイツ社製のものを販売しているが、ユーロが高騰していることから、国産のものを販売することを検討してはどうか。
- 【指定管理者】ご提案の内容を踏まえて、商品の仕入れを検討していきたい。一番影響を受けているのは光熱費で、安価な業者を探して契約している。
- 【委員】入館者数を増やすことを目指すのであれば、入館料の見直しは必要と考える。60歳以上が有料になってしまったことも影響があると考えている。
- 【事務局】博物館の観覧料については、以前に無料でよいのではとのご意見をいただいたこともあったが、長崎市の場合は博物館・科学館は一定の受益者負担の考えのもとで設定させていただいている。恐竜博物館においては常設展示室の利用料金をそのまま企画展の運営費用としていることから、魅力的な企画展の実施に常設展示の入館料が重要な財源でもあるため、観覧料の見直しは考えていない。

以上